

報道関係各位

ジェネリック医薬品使用割合

20 支部が 80%達成する中、77.1%に留まる

全国健康保険協会（協会けんぽ）は、国内最大の医療保険者として健康保険事業全般を行っています。

岐阜支部では、少子高齢化や医療の高度化等を背景に増え続ける医療費を抑制することで未来に続く医療保険制度を実現させるため、ジェネリック医薬品の使用促進に取り組んでいます。取組の経過として、協会けんぽの保有するレセプトデータをもとに集計したジェネリック医薬品使用割合（以後：「使用割合」という）をお知らせいたします。

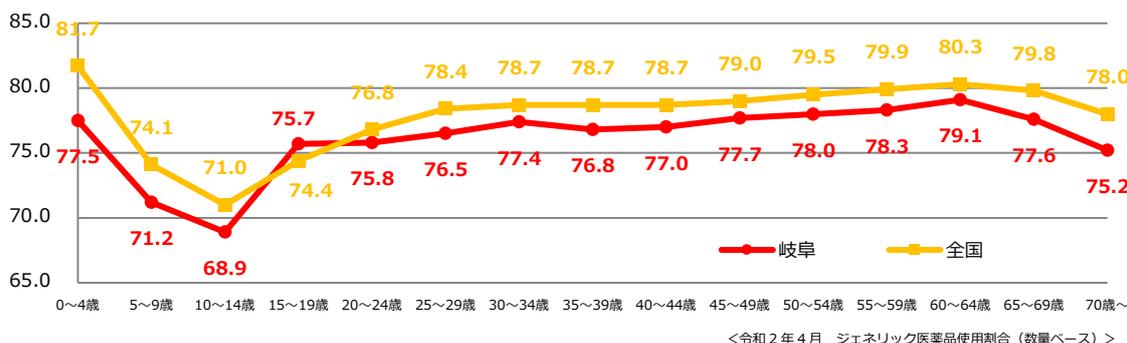
1. 岐阜支部の使用割合は全国 39 位

令和2年4月の岐阜支部の使用割合（77.1%）は全国の使用割合（79.0%）と比べ1.9%低く、**全国 39 位（東海地方で最下位）**です。このままのペースでは、国で定められた目標である「令和2年9月時点での使用割合 80%」の達成は極めて難しい状況です。

	岐阜支部 使用割合	全国 使用割合	岐阜支部 順位	(参考) 愛知支部順位	(参考) 三重支部順位	(参考) 静岡支部順位
令和2年3月	77.0%	78.7%	38位	77.5%	77.8%	79.5%
令和2年4月	77.1%	79.0%	39位	77.6%	77.7%	79.7%

2. 「0～4歳」の使用割合は全国 80%に達成するも、岐阜支部は 77.5%

協会けんぽのレセプト分析から、「5～14歳」の使用割合が低いという課題が全国的に明らかになっています。岐阜支部でも、最も使用割合が高い「60～64歳」と比べると10%近く低いこととなります。また、「5～14歳」に加え「**0～4歳**」も**全国平均と比べると使用割合が低い**ことが分かります。



「0～14 歳」の使用割合が低い要因の一つとして、次の理由が考えられます。

○福祉医療費助成制度

福祉医療費助成制度は個人の負担が見掛け上はないため、価格の高い新薬を希望しやすい。

福祉医療費助成制度は、窓口の支払いはなくとも、医療費の 7 割を健康保険が、3 割を自治体等が負担しています。皆さまにお納めいただいた健康保険料や税金が財源となっているため、実質は個人の負担です。医療保険制度を守るためにも県民への周知が必要と考えています。

3. ジェネリック医薬品の使用促進には「加入者」への対策強化

令和元年 10 月のレセプトデータによると、ジェネリック医薬品の患者拒否率(※1)が全国平均 (15.9%) と比べ岐阜支部 (20.1%) は高くなっています。岐阜支部では、医療機関・薬局への対策に加え、加入者への対策にも取り組んでいます。

①ジェネリック医薬品のお知らせ

ジェネリック医薬品に切り替えた場合に、お薬代の負担軽減が一定額以上見込まれる方に、1 ヶ月分の自己負担の軽減可能額等をお知らせするものを **令和 2 年 8 月 1 7 日 (月) から順次お送りしています。**

毎年 2 回、18 歳以上の加入者を対象に実施していましたが、前回 (令和 2 年 2 月) の実施から、対象者の年齢を引き下げ 15 歳以上の加入者に拡大して通知しています。

②自治体等を通じた「啓発チラシ」

「窓口負担ゼロ」は税金と健康保険料で成り立っている「医療費のしくみ」を掲載したチラシを配布しています。小・中学校の生徒への配布から始まり、現在では高校生へも拡大しています。

(※) 協会けんぽ加入者における 2019 年 10 月診療分の調剤レセプトを対象とする。

(調剤レセプトの加入者の都合で後発品を調剤しなかったコメントレコードのあるレセプト数) / (一般名処方算が存在する医科レセプトに、支部、記号、番号、性別、生年月日がヒモ付く調剤レセプト数)

参考資料 1 ジェネリック医薬品使用状況 令和 2 年 4 月分

【照会先】

全国健康保険協会(協会けんぽ)岐阜支部

担当:企画総務グループ 北島 山田

〒500-8667 岐阜市橋本町 2-8 濃飛ニッセイビル 14 階

TEL:058-255-5155 (自動音声案内で⑤をお選びください)

FAX:058-255-5165